



平成30年度 和歌山県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

「高次脳機能障害研修会」

- 1 日時：平成31年 3月16日(土) 13:30~15:30 (受付13:00~)
- 2 場所：和歌山県立情報交流センターB i g - U 研修室1
田辺市新庄町3353-9 (TEL:0739-26-4111)
- 3 対象者：医療・福祉・介護・行政の関係者、当事者・ご家族など
(定員：80名 定員超過により参加できない場合は、ご連絡致します。)

4 内容：

13:30~ 開会あいさつ

13:40~15:30 講演

講演Ⅰ「事故から11年、母として」

和歌山脳外傷友の会家族会《和らぎ》紀南
代表 山下 裕子 氏

講演Ⅱ「高次脳機能障害って何？」 ~見えない障害と共に共存(※)する~

※2つ以上のものが同時に生存すること

和歌山脳外傷友の会家族会《和らぎ》紀南
副代表 楠本 真紀子 氏

司会 山本 功 氏

NPO法人りとの
難病患者・中途障害者共同作業所
就労支援事業B型ワークショップフラット施設長

講師紹介

◇山下 裕子 (やました ゆうこ) 氏

突然障がい者の母となり、暗中模索の日々を過ごす。

和歌山での家族会に参加した経験から、紀南にも当事者や家族が集まれる場所をと、家族会を設立。

高次脳機能障害への理解を広めるため、リーフレットの作成や、誰でも参加しやすいイベントなどを開催している。

◇楠本 真紀子 (くすもと まきこ) 氏

1979年 生まれ 上富田町出身

専門学校卒業後 20才の時に脳血管性奇形の病気が見つかる 手術後より高次脳機能障害の当事者となる

現在専門学校で取得した介護福祉士の資格を生かし介護の仕事をマイペースで続けている

趣味 神社やお寺巡り

- 5 申込み：裏面申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。
- 6 その他：当日の午前10時時点で、開催地域において「大雨警報」もしくは「暴風警報」が発令中の場合は中止とさせていただきます。

※手話通訳・要約筆記付き研修会（予約不要）

高次脳機能障害 研修会



◇高次脳機能障害とは◇

脳卒中や交通事故や転落事故等で脳の損傷を負うことにより、昔のことはよく覚えているのに新しいことを覚えられない記憶障害、すぐ飽きる・集中力が続かないといった注意障害や怒りやすい・泣きやすい・暴力的になるといった行動と感情の障害などが現れる障害です。この障害は外見からはわかりにくいことが多いため、当事者・家族だけでなく周囲の人々が困惑することがあります。

高次脳機能障害の方が安心して地域で暮らしていくためには、医療従事者、障害福祉・介護サービス事業者、就労支援関係者、自治体職員等の当事者や家族の方と接する関係者が適切な知識を共有して支援していく必要があります。

高次脳機能障害者への理解を深めるため、和歌山県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業の高次脳機能障害支援普及事業の一環として、高次脳機能障害の基礎的な知識を学び、その対応を理解し、高次脳機能障害の当事者とその家族を地域でいかに支援するかを学ぶことを目的に研修会を開催します。

高次脳機能障害 研修会 参加申し込み

和歌山県子ども・女性・障害者相談センター

障害者支援課 あて



FAX 073-446-0036

e-mail e0404025@pref.wakayama.lg.jp

申し込み締め切り 3月11日(月)

FAXでお申し込みの場合、送付状は必要ありません。
必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。
メールでのお申し込みも受付けております。

ご氏名(ふりがな)	○をつけてください。 (支援者の方は、職種と所属をご記入ください。)
	当事者・家族 支援者(職種:) (所属:) その他()
ご連絡先 電話番号	備考(車椅子使用等で配慮が必要な場合はご記載ください。)

問い合わせ先 和歌山県子ども・女性・障害者相談センター
障害者支援課

TEL 073-445-7314

FAX 073-446-0036

e-mail e0404025@pref.wakayama.lg.jp

